

館報

# おみ

7月号  
No.688

2024.7.25 (令和6年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館  
TEL 0263-67-2240



▲迫力ある素晴らしい演奏に感動 公民館 音楽鑑賞会 (6月30日撮影) 関連記事は2面

普段聴けない  
演奏を楽しむ  
公民館音楽鑑賞会

新型コロナウイルス感染症が五類となり、多くの皆さんに楽しんでもらうことを目的とした公民館主催の音楽鑑賞会を六月三十日、地域交流センターで開催しました（表紙）。

はじめに演奏されたのは、毎週地域交流センターで練習し、消防団の式典において欠かすことができない消防団ラッパ班の皆さんで、迫力ある演奏に加えて、愉



▲麻績村消防団ラッパ班の演奏



▲民謡にあわせた津軽三味線の演奏

快なラッパの紹介もあり、会場をわかせていました。続いて松本市で津軽三味線藤田流名取として活躍されている上條正明さんによる演奏は、通常の三味線と異なり、早く激しい演奏で、楽しいお話もあり、大変盛り上がりしました。最後は、松本市を拠点に活動している県松本文化会館付属管楽アンサンブルによる演奏です。演奏曲は「東京ブギウギ」、大河ドラマの「篤姫メインテーマ」、子どもたちになじみのある「夢をかなくて

ドラえもん」まで、幅広い年齢層の曲をカバーしており、皆さん熱心に聴いていました。

公民館事業として初めての試みであったので、どれだけのお客さんが来るのかという不安もありましたが、百人を超す多くの皆さまに鑑賞いただきました。出演、お越しいただいた皆さまに感謝申し上げます。

体力・運動能力アップ  
第三回ふれすぽ

第三回ふれすぽは七月二十日、地域交流センターで実施しました。

脳と心と体に刺激を与え



▲コーディネーショントレーニングとは



▲ボールを使った運動

ることが期待される「コーディネーショントレーニング」を行い、二十五人が参加しました。

このトレーニングは、脳科学や認知科学、運動生理学の知見に基づき、運動と精神が発達していく順序性を意識して、脳と心と身体に刺激を与えることにより、運動の学習能力を高めるものです。

当日は、くの字運動やボールを二人で渡し合うといった運動を行いました。親子での参加が多く、時間いっぱい運動を楽しんでいました。



パリオリンピックピックが開幕した。フランスとの時差は七時間。連日寝不足が心配される。暑い夏がやっ

てきた。

体育が好きで学校で専攻したことがあり、四年に一度の国際大会の歴史について学んだ。全ての国、全ての人にとって競技は平等で、世界の平和に寄与する。そんな昔の講師の言葉を思い出す。

しかし、今の世界情勢は戦争や紛争、対立など、恐ろしい現状を突きつけている。オリンピックの歴史は、紀元前にさかのぼる。なぜ四年に一度の開催なのか。一説に、争いの絶えなかった昔、戦争を中断してでも参加しなければならず「聖なる休戦」と言われていた。不参加国もあり、本来の大会の目的にはほど遠いが、どうか参加選手が無事に力を出し切れる大会であってほしい。

# 公民館行事の予定

## ● 第四回ふれすぽ

日時…八月二十五日(日)

午前九時三十分から

場所…麻績村体育館

内容…山雅サッカー教室

持ち物…運動できる服装

飲み物

室内シューズ

## ● 第五回麻績学級

日時…九月二十六日(木)

内容…視察研修

「池の平湿原」

(東御市)

備考…時間等の詳細は、チラシを配布します。当日、バスで移動します。

定員を設け、参加費を予定しています。

## 空手で全国大会出場へ

堀金総合体育館で四月二十一日に開催された全国空手道選手権大会予選兼長野県空手選手権大会で小学四年生男子組手の部で準優勝



▲全国大会へ向けてがんばります

という成績を収め全国大会へ出場する宮下桜巳都さん(中町)が七月十七日に来庁して、塚原村長に意気込みを伝えました。

昨年度に続けて、素晴らしい結果を期待しています。

## 夏越の大祓

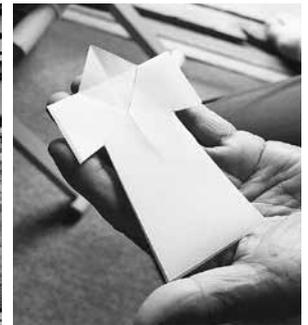
麻績神明宮

半年間の穢(けが)れを落とす伝統行事の「夏越(なごし)の大祓(はらえ)」が

六月三十日に麻績神明宮で行われました。

拜殿の大祓式では、参拝者に和紙製の人形(ひとがた)が配られ、体をぬぐうことで穢れを落とし、鳥居

とす伝統行事の「夏越(なごし)の大祓(はらえ)」が六月三十日に麻績神明宮で行われました。



▲人型(ひとがた)



▲行列となり茅(ちがや)をくぐる

で茅(ちがや)の大きな輪を列となつて三回くぐる儀式が執り行われました。

## 筑北三村地域

自立支援協議会

令和五年度に設置された麻績村、筑北村、生坂村の三村による筑北三村地域自立支援協議会の全体会が、「ごちやまぜ」だから楽しい暮らし〜地域創生と共生

が執り行われました。



▲第一部の村岡裕さんによる講演

社会に向けた元気な地域づくり」と題して、七月十二日に地域交流センターで行われました。

第一部の講演会は、社会福祉法人・佛子園専務理事の村岡裕さんによる、石川県で運営している医療や高齢者福祉事業などの紹介がありました。

第二部のパネルディスカッションでは、村の福祉向上についての方向性や実績を話し合いました。

## おみっこ元気くらぶ

開校式

おみっこ元気くらぶ開校



▲今年も楽しみながら学びます!

式が六月十九日に地域交流センター前で行われ、十八人の小学生が参加しました。全員での記念撮影後、信州大学の学生サークル「YOU遊未来」の皆さんが企画したウォークラリーが行われ、チェックポイントでは学生が考えた謎解きを楽しみながらゴールを目指しました。今年も様々な企画が予定されています。

「麻績かるた」より  
「麻績村トリビア」

か街道や  
苦行の跡や  
切り通し



▲麻績村の「小切り通し」

筑北村青柳宿から麻績村に至る街道に、大きな岩を削って道を開けた「切り通し」があります。一五八〇年、青柳の殿様の命によって着工、安土桃山時代です。機械の無い時代に、大変な作業であったことが今も残るノミ跡からうかがわれます。今では鉄道も国道も高速道も通っている当地ですが、その頃はこの岩を削るしか手立てがない難所だったようです。

かつて山林は、人間の暮らしに無くてはならないものでした。特に日本では木材を燃料に利用したほか、障子や襖、和紙にするなど、生活に欠かせないものでした。必要な資源は近くの山にあり、採取することで整備され、風や光が通り新たな樹木が育つ、そんな循環がありました。

この百年程に大きく変わった便利な生活を手離すことは無理だけど、少しでも山林に目を向ける必要があるのでは、と思います。

北村、「小切り通し」は麻績村になります。

き)木木の声  
風通らぬと  
叫んでる



めずらしい石仏の数々  
第三回麻績学級

千曲市の大雲寺と、霊浄山を巡る第三回麻績学級を七月十八日に聖博物館名誉館長の宮下健司さんを講師にお招きして開催し、二十三人が参加しました。

バスで大雲寺へ移動し、本堂でお話を聞き、蓮の花が咲いていた池を見た後で霊浄山へ登りました。

山道を二十分程登ると、珍しい石仏がたくさんあり、宮下さんの説明を聞き、メモを取りながら熱心に写真撮っていました。



▲大雲寺にてお寺の由来を聞く



▲二体の猫の石仏

麻績保育園夏祭り

麻績保育園夏祭りが七月十二日に開催されました。わなげやボーリングといったブースでは、園児たちが夢中で遊んでいました。「おみぼん」が登場すると、周囲に集まり、抱き着いている子もいました。

園児たちは、年齢に応じてお神輿を引っ張ったり、担いだりして楽しそうにしています。

最後に全員で踊り、思い出に残る夏祭りとなりました。



▲入れ!

当日は天候に恵まれ、良いコンディションの中で競技が行われ、三十四人が参加しました。

結果は、次のとおりです。

一位 三浦 武(高)

二位 阿部光男(野田沢)

三位 有賀増人(中芝・小東)

村長杯マレットゴルフ大会  
マレットゴルフ大会  
村長杯マレットゴルフ大会を七月十三日、麻績マレットゴルフ場で開催しました。



▲わっしょい! わっしょい!

# 麻績小学校

## 五年生「海の学習」から

五年生十四名、海の学習で七月三日から四日まで日間賀島に行ってきた。普段、山に囲まれた麻績村で過ごす子どもたちには、海に囲まれた日間賀島の生活はとても新鮮で学びが多かったと思います。事前に社会科で学習をしていた「低い土地のくらし」の学びとつなげる子ども達もいたり、島の植物を見て麻績との違いを感じたり、五感を使って、海の生活を楽しんでいました。

一日目のふりかえりの時間には、夕日を堪能していました。遊ぶ時は思いっきり楽しみ、学ぶ時は真剣に



▲日間賀島で記念撮影



▲楽しい食事風景

取り組むことを目標にしてきた五年生ですが、学習のまとめで報告書を作成した際に、子どもたちの学びの成果を多く感じました。二日間、集団生活を過ごし、子どもたちは大きくたくましく成長しました。かけがえない経験をした海の学習の学びをこれからの生活に活かして行ってほしいと思います。

## 筑北中学校

### 生坂中との交流会

一年 岩永 康介

先日、生坂中の一年生との詩の発表会がありました。始める前は、そんなに緊張していなかったけど、いざ始まったら結構緊張して、自己紹介でちよっと時間が

# 元気通信!!

～今月の小・中学校～

かかってしまいました。自己紹介が終わったら、詩の発表に移って、僕たちが先にやることになりました。みんなが発表していたら、生坂の方から、「やばいな」とか「すごい」という声が聞こえてきて、

生坂の人たちの詩がどんなものか気になりました。

生坂の人たちの詩は、とても個性的でした。きちんと書いてある人もいるけど、「ハアア」「アアア」とか書いてある人もいました。中には一つの詩で二つの意味があるものもあり、全部含

めてとても面白かったです。生坂中の人も仲よくなれて、楽しかったです。

### ふるさとプロジェクト

二年 渡辺 遥陽

私は、ふるさとプロジェクトで、シェーンガルテンおみにもっと人が来てもらえるような提案を考えています。実際にシェーンガルテンおみに行ってみて、ご飯はともおいしかったので、もっといろいろなメニューを考案したいです。庭の何もないところに何を置くのか、また考えたいです。みんなで案をたくさん出したので、それが実現できるように話し合いたいです。私たちの提案で麻績村にたくさんの方が来てくれたらうれしいです。

### 第六十七回筑北祭に向けて

三年 宮下 結雅

今年の第六十七回筑北祭は、九月二十八日の開催です。昨年とは違い、一日開催なので、より洗練され、充実した活動ができるかと期待しています。今年のサブテーマは「無限大の可能性」です。これを目標に、生徒一人一人が持っている無限大の可能性を引き出し、筑北祭の準備を進めたいと思います。

会員の活動量が例年より多く、初めての挑戦だと思っています。しかし、生徒全員で日々の学習発表の場となるように、主体的に取り組みたいのです。全員で力を合わせ、筑北祭を成功させたいです。



▲生坂中の一年生との合同授業



▲シェーンガルテンへの提案をしました!



▲筑北祭70日前イベント

## 相撲と麻績の事跡

(その八)

## 相撲ごぼればなし

## ○雷電為右衛門のこと

明治四(一七六七)年、小諸領大石村(現東御市)に生まれる。幼名関太郎吉という。

天明元年(七八一)年太郎吉長瀬村(現上田市長瀬)石尊の辻にあった浦風部屋の道場に入門する。

長昌寺(臨濟宗)の寺子屋で学びながら稽古に励む、親方に認められ江戸にのぼり浦風林右衛門の部屋に入門し谷風の弟子となり、やがて松江藩の拘え力士となる。

雷電の醜名(しこな)で、当時の最高位であった大関に登りつめ、大関在位十六年間に及んだ。

## ○雷電を顕彰する

富岡八幡宮

東京都江東区門前仲町に

約四百年前の創建と伝わる「富岡八幡宮」がある。

江戸時代後期の地理学者・測量家で、文化十(一八一四)年麻績宿も訪れた伊能忠敬が、この街に住み、旅の安全を祈願したお宮で、境内には測量器具と装着した特製のつえを持った旅姿の忠敬の像があるという。

相撲と縁が深いお宮でもある。

貞享元(一六八四)年から百年間勧進相撲を興行し、大相撲の草分けともいわれている。

境内には、明治三十三年(一九〇〇)年建立された、東御市出身の大関雷電から歴代横綱を顕彰する高さ三・五m、重さ二〇tの「横綱力士碑」、「巨人力士手形足型碑」など相撲にまつわる見どころが多々あるお宮だという。

相撲ファンの皆さん、上京の節は、訪ねたらどうでしょうか。

## 怪童坂田金時のこと

## ○金時は信州生まれ?

本名公時といい、幼名は金太郎、坂田主馬佐金時とも名乗った。

平安時代後期の武士源頼光四天王の一人で実在の人物という。

伝説・物語では、相模国(神奈川県)の大部分で相州ともいう)足柄山に金太郎と称し、山姥(やまんば、深山に住み怪力の伝説の女で、山女、鬼女ともいう)と赤竜の子と伝わる怪童がいて、熊や鹿と相撲をとり、無敵無敗であったという。

浄瑠璃・歌舞伎では、怪童丸として登場し、今日に語り継がれている。五月人形のヒーローでもある。

ところが、この怪童金時が信州生まれだという異説が数々ある。

一説は、千曲五湯の一つである田沢温泉だという。信州新町との境に大姥山

(一一六一・一m)がある。金時の育った山なので「金時山」ともいい、明治初めの長野縣町村誌では、名勝となっている。

知れない。

## ○金時の母は、麻績の山姥か?

「館報おみ」平成十六年三月号に「金太郎の母は麻績の人?」が掲載されている。

「:麻績の郷で芋(麻)を績(う)み機(はた)を織っていた山姥:」とあるこの山姥が足柄山に嫁ぎ金太郎を生んだという。

広辞苑によれば、室町初期の能役者・能作者世阿弥(ぜあみ)作の能に「山姥」があるという。

「山姥の曲舞(くせまい)を歌った「百ま山姥」という都の遊女が善光寺に詣でる途次、山中で山姥に逢う」とある。

この山中が麻績で「山姥」が金時の母であろうか?

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



おみ図書館二十周年企画  
二十年間の  
ベストリクエスト

二十一年間で「予約リクエスト」がたくさん入った本を紹介します。

第一位

「神様のカルテ」シリーズ  
夏川草介 著



小学館

シリーズは五冊になりま  
した。夏川先生の作品はど  
れもとて人気です。

第二位

「火花」

又吉直樹 著



文藝春秋

第三位

「蜜蜂と遠雷」

恩田 陸 著



幻冬舎

本屋大賞と直木賞のダブル受賞で話題となりました。

第四位

「鹿の王上・下巻」

上橋菜穂子 著



KADOKAWA

第五位

「謎解きはディナーのあとで」

東川篤哉 著



小学館

第六位

「クスノキの番人」

東野圭吾 著



実業之日本社

第七位

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」

岩崎夏海 著



ダイヤモンド社

第八位

「君の隣臓をたべたい」

住野よる 著



双葉社

第九位

「舟を編む」

三浦しをん 著

第十位

「永遠の0(ゼロ)」

百田尚樹 著



太田出版



光文社



▲工事に向けて新しい書架も一台入りました

耐震工事準備

準備が整ったところで、七時四十五分には開館。すると、待ってました！とばかり、本の貸し借りをする児童が来館。二時間目の休み時間には、書棚の整理をしたり、委員会の時間には、お薦め本の紹介文を書いたり、本のクリーニングをしたりすることもあります。環境を整えて、皆さんに気持ちよく、たくさん本を読んでもらえるよう、日々頑張っています。

麻績小学校図書館だより

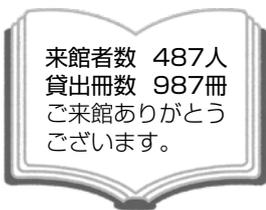
今回は、図書委員会の活動を紹介します。

図書委員の朝は早く、開館準備から始まります。返却ボックスに入った新聞や一般書籍の取り込み後、カーテンを開けたりパソコンを立ち上げたり…。



▲きれいな本を手にとってもらおう！

6月の図書館



来館者数 487人  
貸出冊数 987冊  
ご来館ありがとうございます。



今年のテーマは「災害に備える」〜いざというときの地域の力〜

**ふくしのつどい  
開催のお知らせ**

新型コロナウイルス感染症流行のため中止していた「ふくしのつどい」が、今年ぶりに開催されます。

今年元日から「能登半島地震」という大災害に見舞われました。地震・豪雨・土砂崩れ等々、いざというとき地域の力をどう活かしていくか：普段の暮らしの中で自分たちができることを一緒に考えましょう。また、普段あまり目にしないうい、福祉車輛や災害準備品の展示も予定しています。その他、日頃デイサービスで行っているオンラインレクリエーションやニュー



スポーツの体験などお楽しみがいっぱい。ぜひ、お出かけいただき楽しく体験してください。

メインテーマは「ふつうのくらしのしあわせをみつけよう」です。皆様のご来場をお待ちしております。  
日時 八月二十五日(日) 午後一時三〇分  
場所 地域交流センター  
詳細は、社協報・チラシ折込み等でお知らせします。お問合わせ先

麻績村社会福祉協議会  
(☎六七・三〇九九)

**松本広域連合消防職員  
採用資格試験(初級)**

来年四月以降に採用予定

の松本広域連合消防職員採用資格試験(初級)を次のとおり実施します。

●受験資格

平成十三年四月二日から平成十九年四月一日までに生まれ、高等学校卒業程度の学力を有する人。ただし、四年制大学卒業者及び四年制大学卒業予定者は受験できません。

○一次試験

九月二十二日(日)、詳細は「試験案内」を参照。

○受験申込

八月二十二日から三十日まで(必着)、郵送の場合には簡易書留。

●試験案内・申込用紙

松本広域連合又は松本広域消防局ホームページから印刷して使用してください。

郵送希望の人は、百四〇円切手を貼付し、送付先の住所、氏名を記載した角型二号の返信用封筒を同封のうえ、赤字で「試験案内希望」と明記してお早めに次の宛先へ請求してください。

●お問い合わせ・送付先  
〒三九〇-一四〇一  
松本市波田四四一七番地一

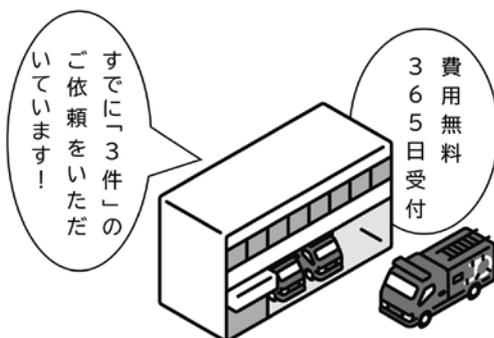
松本市役所波田支所四階  
松本広域連合事務局総務課  
(☎八七・五四六〇)

**麻績消防署から  
お知らせ**

お知らせ

麻績村にお住いの皆様、「消防署」と聞くとどんなイメージをお持ちですか? 麻績消防署では、消防署の堅いイメージを無くし、地域に根付いた身近な存在にしてみようために、皆様と交流できる機会を探しています。気軽にお話ししてみませんか?  
『地域で集まる茶話会』  
『子育てサークルや同好会』  
『公民館の行事』など  
住民の皆様が集まる機会に私たち消防士が赴きご希望の内容をお話しします。  
『防災について不安に思っていること』  
『救急車ってどんな時呼べばいい?』  
『消防車や救急車について知りたい!』など  
「面白そうだし呼んでみるか」で構いません。お茶を飲みながらの世間話も大歓迎です。お気軽に麻績消防

署へご相談下さい!  
お問い合わせ先  
麻績消防署  
(☎六七・二九九二)



**ご冥福を祈る**

勝野まさ江 84歳 宮本  
柳原 一博 98歳 叶里高畑

**お詫びと訂正**

館報六月号四面の記事に誤りがありました。正確には次のとおりです。訂正してお詫び申し上げます。  
「上手町(わでちょう)」